

第二部

北東アジアにおける信頼醸成 ～トラック2の活用の可能性～

広瀬 訓・向 和歌奈・孫 賢鎮

北東アジアの国際情勢

1. 米中口の摩擦
2. 日中韓の緊張
3. 北朝鮮による核・ミサイル開発

北東アジアの安全保障における特殊性

1. グローバルレベルでの緊張と地域レベルでの対立
2. 地域レベルでの安全保障枠組みの不在
3. 新興核兵器保有国としての北朝鮮

北朝鮮の核開発問題：手詰まりという現状

1. 六カ国協議の再開は？
2. 二カ国間の協議は可能か？
「戦略的忍耐」の失敗
3. 対北朝鮮政策の調整はどこでできるのか？

「トラック2」とは何か？

1. 非公式（非政府）の国際的な協議
2. 各国の政策に影響を与える
3. 様々な形態

「トラック2」の実績

1. パグウォッシュ会議：冷戦期の米ソ軍備管理交渉

- ・米ソ間での科学者による技術的な意見交換→検証制度の構築

2. アジア太平洋安全保障協力会議(CSCAP)

- ・ASEANという地域枠組み
- ・「トップ・ダウン」と「ボトム・アップ」の組み合わせ

北東アジアにおける「トラック2」の試み

1. 北東アジア平和協力構想(NAPCI)

- ・トラック1、トラック1.5、トラック2の並行の試み
- ・非伝統的安全保障分野優先のアプローチ
- ・「韓国主導」からの脱却へ向けて

2. パグウォッシュ会議東アジアグループ

- ・「パグウォッシュ会議」の国際的な信用
- ・トラック1との連携の模索

北東アジアにおける「トラック2」の問題点

1. 「**トラック1**」への影響を与えうるか？
2国間、多国間枠組み
2. 「トラック2」に対する**インプット**の弱さ
3. 北朝鮮に対する「トラック2」のアプローチ：
接触は可能か？

新しい展開

1. 北朝鮮の方針転換？→朝鮮半島の非核化の現実性
2. 南北・米朝直接対話の可能性
3. 地域的枠組みを作れるのか？



日本の役割？

トラック2の貢献？